

令和2年度福井県立南越特別支援学校スクールプラン

校訓	元気に やさしく 輝いて
教育目標	健やかな身体と豊かな心を持ち、人とかかわりながら、自分らしく生き生きと、社会の中で生活できる子どもを育成する。

目指す子どもの姿	「なんだろう」「なぜだろう」と興味をもって学びに向かう子 えがく未来の自分に自信をもって学び続ける子	経験(けいけん)や体験(たいけん)した学びを生活にいかせる子 つながりあって学びを広げ深める子
----------	---	--

教育方針
<p>(1) 幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した適切な教育活動を展開し、個々の可能性を最大限に引き出し、生きる力を高めていく。</p> <p>(2) 学校や地域社会で、お互いが育ち合う様々な集団活動の場をつくっていく。</p> <p>(3) 一人ひとりの状況や多様な障害を理解し、それぞれの成長をサポートする体制を学校全体で整える。</p> <p>(4) 関係機関と連携しながら、交流活動や進路指導・相談機能を充実させ、地域の特別支援教育を推進する。</p>

学校業務改善のための取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内ネットワークの活用や会議の協議内容のポイントを絞るなどして、業務の効率化を図る。</li> <li>・勤務時間を把握し、業務改善により時間外勤務の縮減を図る。</li> </ul>

人権教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高め、自分や他者のいのちを大切にすることを育てる。</li> <li>・互いに助け合い協力する活動を推進する。</li> </ul>

重点目標				
学習指導 (図書研究部 教務部)	生活指導・安全指導 (指導部 保健部)	進路指導・生活支援 (進路指導部 渉外部)	地域支援 (教育相談部)	組織運営
・子どもたちが主体的に「生活する力」や「かかわる力」をはぐくむことができるように、授業づくりを行う。	・子どもたちが多くの人とかかわりを持ち、つながりを深めたりできるような支援の工夫や改善を図る。 ・子どもたちが安全で安心な学校生活を送られるような支援の工夫や改善を図る。	・関係機関と連携しながら、進路選択や生活支援に必要な情報を継続的に収集・発信する。	・障害のある子どもたちの豊かな生活を目指して、特別支援教育の情報を発信し、地域支援の充実を図る。	・一人ひとりが特別支援教育の専門性を向上させ、その教育効果を上げるため、日常的に学び合う気運を高め、課題を共有した組織づくりを推進していく。

具体的な取組				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体での場、教科に分かれたグループなどで、小・中・高等部の教員間で意見交換しながら研修する機会を設ける。そこでは、学習指導要領の各教科の目標や内容についての理解を深め、学部間の繋がりがりや系統性についても検討していく。</li> </ul> <p>目標：授業の目標や内容について、多角的な話し合いを授業づくりに活かす。(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが校外での活動を通して、元気にあいさつができるように支援する。</li> </ul> <p>目標：児童生徒が元気なあいさつをするための支援の充実。(80%以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、引き渡し訓練、不審者対応訓練などの実践を通して、教職員へ危機管理マニュアルの周知を図る。</li> </ul> <p>目標：危機管理マニュアル周知のための訓練の実施(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路説明会の開催や、学級懇談での進路相談、進路だより、福祉サービス事業所一覧の発行を通じて、児童生徒・保護者・教職員に情報を提供する。</li> </ul> <p>目標：進路選択や生活支援のための情報提供の充実。(70%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子ども・保護者・支援者に適切な情報を発信するために、校内で協力して学校見学や体験入学を実施する。</li> </ul> <p>目標：学校見学や体験入学の参加者に適切な情報を提供する(80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が経験や立場に応じた目標を設定し、特別支援教育に関する専門的な知識や指導力を高める。</li> </ul> <p>目標：特別支援教育の専門家としての専門性の向上(80%以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内でのOJTを推進し、自身の経験や知識を他の教員と共有し、互いに専門性を向上させる。</li> </ul> <p>目標：チームとして互いに支え合う職務遂行(80%以上)</p>